

授業の具体的展開例

ペアワーク活動における展開

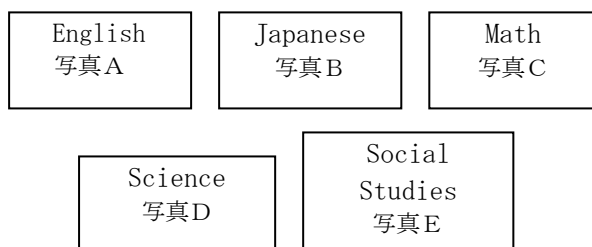
①封筒の中にある写真／絵を見て、ペアで比べるポイント（形容詞）を考え、意見を出し合い英文を作成する。

（比較級2文、最上級1文以上）

②ペアごとに自分たちの決めたテーマに沿って、プレゼンテーションができるように、必要な英文を加える。

③各ペアで練習する時間も確保する。

〈例〉 Our favorite subject



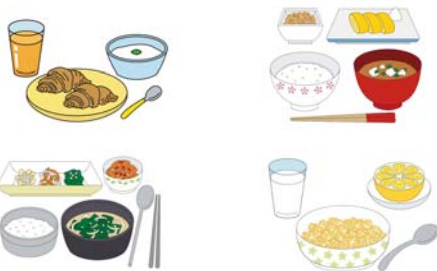
[その他のテーマの例]

Our favorite place, Our favorite breakfast など何種類かテーマを用意しておく、発表のバリエーションがあつてよい。

* 発表者には「Why do you think so?」、聞き手には「Do you agree?」などの質問を投げかけ、考える力も養う。

[例]

Our Favorite Breakfast



Our Favorite Place



出典：IPA「教育用画像素材集サイト」 <http://www2.edu.ipa.go.jp/gz/>

HOME

本時の流れへ

「活用」の力を育てる評価の工夫

本時では、ペアワークによる英文描写やプレゼンテーションの場を設け、テーマを設けた自己表現活動を評価する。

生徒の目標となるように評価基準を示し目標をもって取り組ませる。

振り返りの時間を設定し自己評価をさせることで次の表現活動への目標を見いださせる。

発表を聞く側の生徒には評価シートに記入させる。具体的には、「発表内容」・「発表の仕方」・「発表の態度」などを評価させることにより発表活動における「聞く」態度を身に付けさせる。

指導においては辞書の活用を奨励し、内容伝達への意欲を大切にする。

「活用」の力を育てる評価の視点

本時では、5枚の写真を用いて英文描写をさせるため、各ペアから多様な比較表現が期待できる。理由付けができるなど、既習事項を活用してまとまりのある英文を作らせる。

「活用」の力を評価する具体的な視点としては、以下が考えられる。

- ① 伝えたいことが明確であり、伝えるための工夫をしている。
- ② 条件に沿ったまとまりのある英文を作成し発表している。
- ③ ペアで協力して発表している。

活動中は学級全体の様子に配慮し、個別に支援を行う。

また、以前の単元で学習した内容（接続詞・不定詞・動名詞など）を活用して表現しているかどうかを視点を置き評価する。

教材・教具

（板書用）

・ 比較するための絵

（生徒用）

・ 音読筆写プリント ・ ペアワーク用の写真

・ ペアワーク用のワークシート